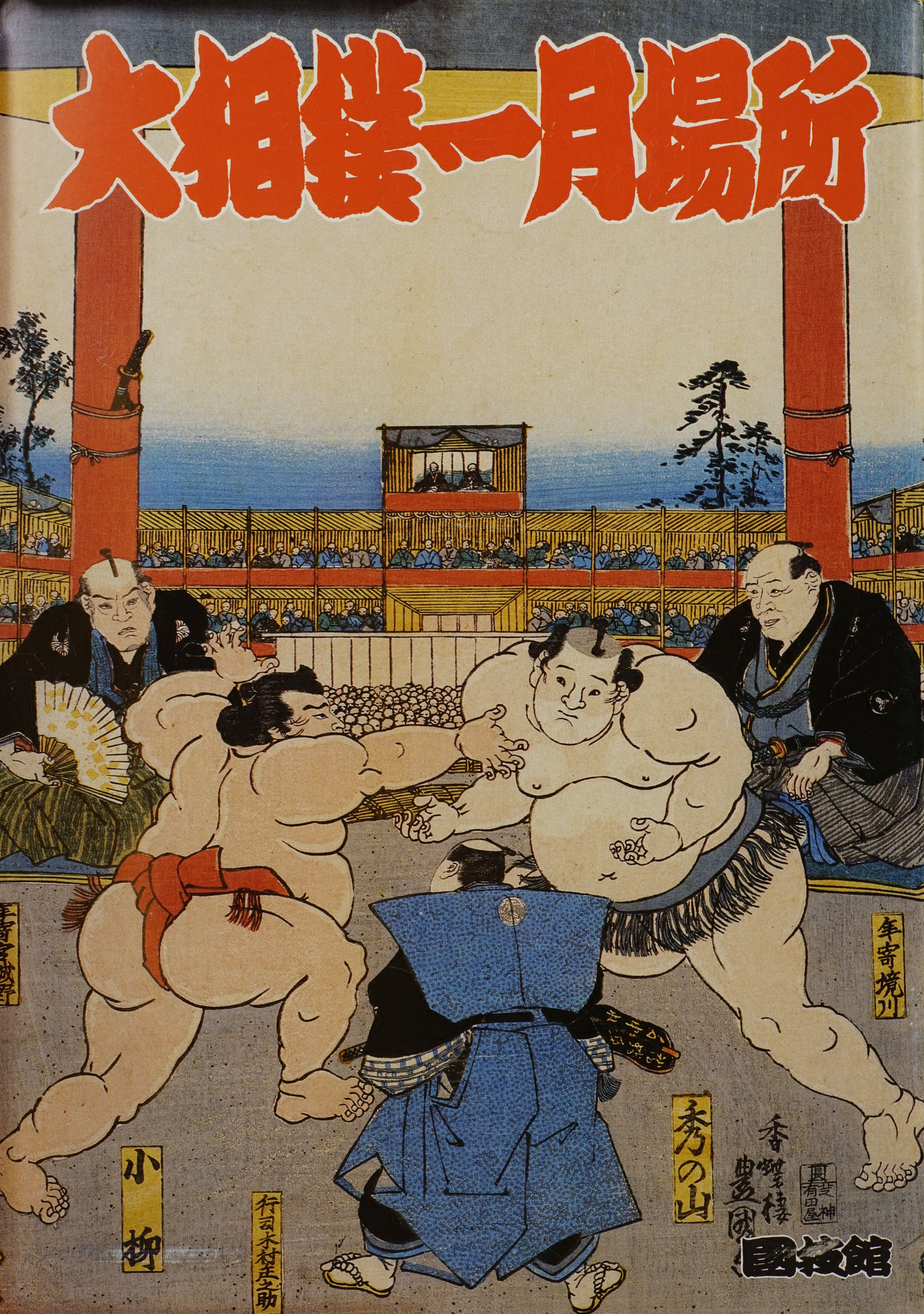
大相撲一月場所



國技館

ゴールド──それは、いつの時代でも世界中で通用する永遠の価値を持ち続けて来ました。経済情勢がめまぐるしく変化する現代においても、資産としての金の持つ価値はますます高まっています。

そこで、注目されているのが、金を中心とした「貴金属先物取引」です。この取引は、小さな資金で大きな取引ができる資金効率の良さが特長。マル優廃止や低金利、消費税の導入など、金融環境の変化のなかで、より効率の良い資産運用を実現します。いま時代はゴールド。それは、豊かさへの確かな戦略です。

通産省・農水省許可商品取引員

豊商事株式会社

本社／〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1-16-12 TEL 03(667)5211(大代)

※豊商事では貴金属の先物取引に関する資料を各種取り揃えております。お気軽に上記住所宛にお申し込みください。

CS-0753

一月場所展望

大横綱千代の富士。『記録は破られるためにある』と言われるが、千代の富士は初場所の土俵で偉大な記録に挑戦する。大鵬の32回優勝に〝王手〟だ。

『まだまだやるよ』と若さを強調する千代の富士。昭和三十年生まれで、ひつじ年のことしは〝年男〟でもある。大鵬に並び、そして大鵬を超える。力強さは依然衰えを知らない。速攻、一気の出足はさらにみがきがかかっている。王者千代の富士が新しいスタートを切る初場所だ。

年間最多勝に輝いた旭富士。横綱になって3場所目だが、横綱初優勝へムードが盛り上っている。見事によみがえった大乃国、いつも真摯な相撲を取る北勝海。四横綱の激突が初春の土俵を沸かすだろう。

霧島と小錦の大関陣も体調十分だ。四場所連続三賞受賞の関脇琴錦を筆頭に安芸ノ島、栃乃和歌らの実力三役と、新鋭曙、大翔山らの横綱、大関陣初顔合せと楽しみいっぱいだ。

ごあいさつ

新年明けまして
おめでとうございます。

平素は皆様から絶大なるご支援ご厚情をいただきまして、まことにありがたく、心から御礼申し上げます。

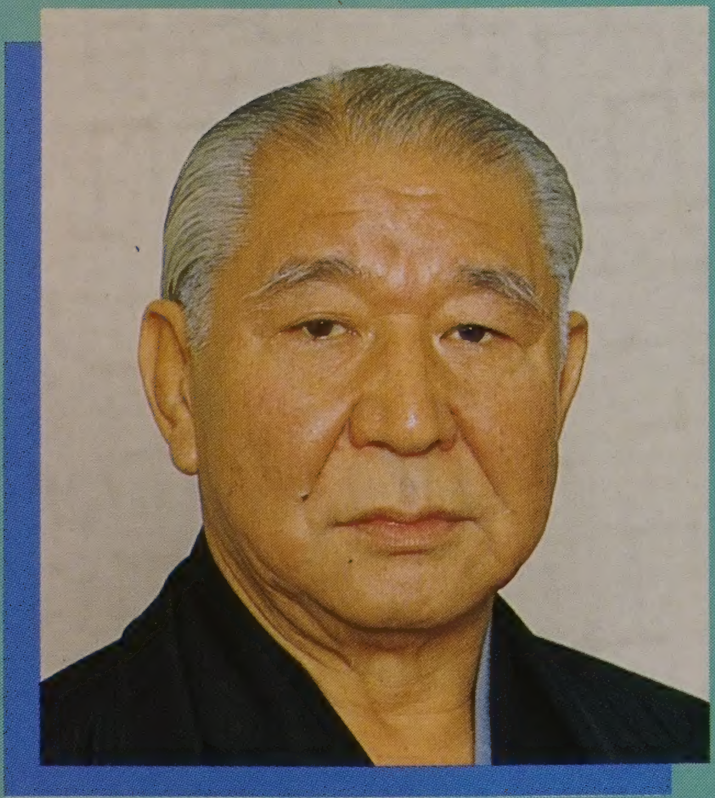
今場所は、横綱・大関以下新進古豪の各力士が、稽古に精進してきた成果を余すところなく発揮し、全力をつくして、激しい優勝争いをくりひろげ、皆様のご期待にお応えできることと存じます。

今後さらに土俵内容の充実に努力する決意でございます。

なにとぞ、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成三年一月

財団法人 日本相撲協会
理事長 **二子山勝治**



綱
ZUNA

千代の富士
CHIYONOFUJI

千代の富士貢（ちよのふじみつぐ）【九重部屋】北海道松前郡福島町
本名・秋元貢　三五歳
身長一八二㎝　体重一二五kg　右四つ・上手投　一〇四二勝四三三敗
初土俵／四五年九月　新入幕／五〇年九月
優勝／三一回　殊勲賞／一回　敢闘賞／一回　技能賞／五回
場所数／一一三　金星／三

旭富士

ASAHIFUJI

横

YOKO

旭富士正也（あさひふじせいや）【大島部屋】青森県西津軽郡木造町
本名・杉野森正也　三〇歳
身長一八七㎝　体重一四一㎏　右四つ・寄り　五一九勝三〇〇敗
初土俵／五六年一月　新入幕／五八年三月
優勝／三回　殊勲賞／二回　敢闘賞／二回　技能賞／五回
場所数／六一　金星／二

大乃国
ONOKUNI

大乃国　康（おおのくにやすし）【放駒部屋】 北海道河西郡芽室町
本名・青木　康　二八歳
身長一八九㎝　体重一八六㎏　右四つ・寄り・吊り　五三四勝三〇六敗
初土俵／五三年三月　新入幕／五八年三月
優勝／二回　殊勲賞／五回　敢闘賞／二回
場所数／七八　金星／四

北勝海

HOKUTOUMI

横

YOKO

北勝海信芳（ほくとうみのぶよし）【九重部屋】 北海道広尾郡広尾町
本名・保志信芳　二七歳
身長一八〇㎝　体重一四七㎏　左四つ・押し・寄り　五五二勝二六八敗
初土俵／五四年三月　新入幕／五八年九月
優勝／七回　殊勲賞／三回　敢闘賞／三回　技能賞／五回
場所数／七二　金星／一

大関
OZEKI

小錦
KONISHIKI

霧島
KIRISHIMA

小錦八十吉(こにしきやそきち)
【高砂部屋】米国ハワイ、オアフ島
本名・サレバ・アティサノエ　27歳　身長187cm　体重239kg
突き・押し　427勝221敗
初土俵／57年７月　新入幕／59年７月　優勝／１回
殊勲賞／４回　敢闘賞／５回　技能賞／１回
場所数／52　金星／２

霧島一博(きりしまかずひろ)
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡牧園町
本名・吉永一美　31歳　身長185cm　体重131kg
左四つ・寄り
初土俵／50年３月　新入幕／59年７月　殊勲賞／３回
敢闘賞／１回　技能賞／４回　場所数／96　金星／２

関脇
SEKIWAKE

栃和歌 TOCHINOWAKA

琴錦 KOTONISHIKI

栃乃和歌清隆（とちのわかきよたか）
【春日野部屋】和歌山県海草郡下津町
本名・綛田清隆　28歳　身長190cm　体重154kg
右四つ・寄り・押し　244勝194敗
初土俵／60年３月　新入幕／62年１月
殊勲賞／１回　敢闘賞／２回
場所数／36　金星／２

琴錦功宗（ことにしきかつひろ）
【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県群馬郡箕郷町
本名・松澤英行　22歳　身長176cm　体重133kg
突き押し　228勝172敗
初土俵／59年３月　新入幕／元年５月
殊勲賞／３回　敢闘賞／１回　技能賞／１回
場所数／42　金星／２

小結
KOMUSUBI

隆三杉 TAKAMISUGI

安芸島 AKINOSHIMA

隆三杉太一(たかみすぎたかかつ)
【二子山部屋】神奈川県川崎市
本名・金尾隆　29歳　身長179cm　体重146kg
押し　528勝506敗
初土俵／51年３月　新入幕／56年７月
場所数／90　金星／１

安芸ノ島勝巳(あきのしまかつみ)
【藤島部屋】広島県豊田郡安芸津町
本名・山中勝巳　23歳　身長175cm　体重133kg
左四つ・寄り　299勝233敗
初土俵／57年３月　新入幕／63年３月　殊勲賞／４回
敢闘賞／３回　技能賞／１回　場所数／54　金星／11

前頭
MAEGASHIRA

東前頭1
三杉里
MISUGISATO

三杉里公似(みすぎさとこうじ)
【二子山部屋】滋賀県甲賀郡信楽町　本名・岡本公似
二八歳　身長一八五㎝　体重一四一kg　右四つ・上手投げ
初土俵／五四年一月　新入幕／六三年五月
三八四勝三三八敗　場所数／七三　金星／二

東前頭2
寺尾
TERAO

寺尾常史(てらおつねふみ)
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡加治木町　本名・福薗好文
二七歳　身長一八四㎝　体重一一〇kg　突張り
初土俵／五四年七月　新入幕／六〇年三月
四一一勝三八〇敗　殊勲賞／一回　敢闘賞／二回
技能賞／一回　場所数／七〇　金星／三

西前頭1
曙
AKEBONO

曙太郎(あけぼのたろう)
【東関部屋】米国ハワイ・オアフ島　本名・チャド・ローウエン
二二歳　身長二〇四㎝　体重一八五kg　突き・押し
初土俵／六三年三月　新入幕／二年九月
敢闘賞／一回
一〇六勝四六敗　場所数／一八

西前頭2
大翔山
DAISHOYAMA

大翔山直樹(だいしょうやまなおき)
【立浪部屋】石川県鳳至郡穴水町　本名・山崎直樹
二四歳　身長一八三㎝　体重一六九kg　右四つ・寄り
初土俵／元年一月　新入幕／二年九月
七八勝三六敗　場所数／一三

東前頭 3

琴富士

KOTOFUJI

琴富士孝也（ことふじたかや）
【佐渡ヶ嶽部屋】千葉県千葉市　本名・小林孝也
二六歳　身長一九〇㎝　体重一四四㎏　左四つ・寄り
初土俵／五五年三月　新入幕／六三年九月　敢闘賞／一回
三四〇勝三〇〇敗　場所数／六六

東前頭 4

逆鉾

SAKAHOKO

逆鉾伸重（さかほこのぶしげ）
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡加治木町　本名・福薗好昭
二九歳　身長一八〇㎝　体重一二一㎏　両差し・寄り
初土俵／五三年一月　新入幕／五七年一一月
殊勲賞／五回　技能賞／四回
四九二勝四七六敗　場所数／七九　金星／七

西前頭 3

陣岳

JINGAKU

陣岳 隆（じんがくたかし）
【井筒部屋】鹿児島県曽於郡志布志町　本名・中山 隆
三一歳　身長一九〇㎝　体重一四八㎏　突き・押し
初土俵／五二年五月　新入幕／五八年一月
四八三勝四九六敗　場所数／八三　金星／一

西前頭 4

起利錦

KIRINISHIKI

起利錦利郎（きりにしきとしろう）
【鏡山部屋】群馬県桐生市　本名・山田利郎
二八歳　身長一八六㎝　体重一六四㎏　右四つ・寄り
初土俵／五三年三月　新入幕／六一年七月
三七八勝三五〇敗　場所数／七八　金星／二

東 前頭 5

春日富士

KASUGAFUJI

春日富士晃大（かすがふじあきひろ）
【安治川部屋】神奈川県川崎市 本名・岩永祥紀
二四歳 身長一八〇㎝ 体重一三七kg 突き・押し
初土俵／五六年三月 新入幕／元年三月
敢闘賞／一回
二八三勝二六七敗 場所数／六〇

東 前頭 6

久島海

KUSHIMAUMI

久島海啓太（くしまうみけいた）
【出羽海部屋】和歌山県新宮市 本名・久嶋啓太
二五歳 身長一八七㎝ 体重一八五kg 右四つ・寄り
初土俵／六三年一月 新入幕／元年七月
敢闘賞／一回
一二三勝八九敗 場所数／一九

西 前頭 5

琴ヶ梅

KOTOGAUME

琴ヶ梅剛史（ことがうめつよし）
【佐渡ヶ嶽部屋】富山県婦負郡八尾町 本名・北山聡
二七歳 身長一八〇㎝ 体重一七六kg 右四つ・寄り・突き
初土俵／五四年三月 新入幕／六〇年三月 殊勲賞
三八七勝三二一敗 殊勲賞／一回 敢闘賞／四回 技能賞／二回
場所数／七二 金星／二

西 前頭 6

若瀬川

WAKASEGAWA

若瀬川剛充（わかせがわよしみつ）
【伊勢ヶ浜部屋】山形県酒田市 本名・佐藤亙
二八歳 身長一八七㎝ 体重一五〇kg 右四つ・寄り
初土俵／五三年三月 新入幕／五八年一月
四八七勝四二九敗 場所数／七八 金星／一

東前頭 7

孝乃富士

TAKANOFUJI

孝乃富士忠雄（たかのふじただお）
【九重部屋】東京都大田区　本名・安田忠夫
二七歳　身長一九一cm　体重一三七kg　左四つ・寄り
初土俵／五四年三月　新入幕／六一年五月
敢闘賞／一回
三六五勝三七七敗　場所数／七二　金星／二

東前頭 8

貴闘力

TAKATORIKI

貴闘力忠茂（たかとうりきただしげ）
【藤島部屋】福岡県福岡市　本名・鎌苅忠茂
二三歳　身長一八〇cm　体重一三一kg　押し
初土俵／五八年三月　新入幕／二年九月
敢闘賞／一回
二二八勝一六六敗　場所数／四八　金星／一

西前頭 7

旭道山

KYOKUDOZAN

旭道山和泰（きょくどうざんかずやす）
【大島部屋】鹿児島県大島郡徳之島町　本名・波田和泰
二六歳　身長一八一cm　体重一〇〇kg　左四つ・上手投げ
初土俵／五五年五月　新入幕／元年一月　敢闘賞／一回
二九八勝二六六敗　場所数／六五

西前頭 8

花ノ国

HANANOKUNI

花ノ国明宏（はなのくにあきひろ）
【放駒部屋】大阪府藤井寺市　本名・野口明宏
三一歳　身長一八四cm　体重一四四kg　左四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五〇年三月　新入幕／六三年三月　敢闘賞／一回
四六八勝四三六敗　場所数／九六　金星／一

東前頭9

琴稲妻

KOTOINAZUMA

琴稲妻佳弘（ことい なづまよしひろ）
【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県利根郡新治村　本名・田村昌浩
二八歳　身長一八〇㎝　体重一三〇kg　右四つ・寄り
初土俵／五三年三月　新入幕／六二年一一月
四〇七勝三九七敗　場所数／七八

東前頭10

若花田

WAKAHANADA

若花田勝（わかはなだまさる）
【藤島部屋】東京都中野区　本名・花田　勝
二〇歳　身長一七八㎝　体重一一一kg　右四つ・寄り
初土俵／六三年三月　新入幕／二年九月
一〇〇勝五二敗　場所数／一八

西前頭9

貴花田

TAKAHANADA

貴花田光司（たかはなだこうじ）
【藤島部屋】東京都中野区　本名・花田光司
一八歳　身長一八二㎝　体重一二一kg　右四つ・寄り
初土俵／六三年三月　新入幕／二年五月
一〇五勝六三敗　場所数／一八

西前頭10

巨砲

OZUTSU

巨砲丈士（おおづつたけし）
【大鵬部屋】三重県四日市市　本名・松本隆年
三四歳　身長一八二㎝　体重一四〇kg　・寄り・上手投
初土俵／四六年五月　新入幕／五四年三月
殊勲賞／二回　敢闘賞／一回　技能賞／一回
六九六勝七三一敗　場所数／一一九　金星／一〇

東前頭11

水戸泉

MITOIZUMI

水戸泉政人(みといずみまさと)
【高砂部屋】茨城県水戸市　本名・小泉政人
二八歳　身長一九二㎝　体重一七五kg　左四つ・寄り・吊り
初土俵／五三年三月　新入幕／五九年九月
殊勲賞／一回　敢闘賞／五回
四一三勝三一三敗　場所数／七八

東前頭12

恵那櫻

ENAZAKURA

恵那櫻徹(えなざくらとおる)
【押尾川部屋】岐阜県恵那郡坂下町　本名・早川徹
三〇歳　身長一八〇㎝　体重一三五kg　突き・押し
初土俵／五二年三月　新入幕／六二年一一月　敢闘賞／一回
四一〇勝三九六敗　場所数／八四

西前頭11

大寿山

DAIJYUYAMA

大寿山忠明(だいじゅやまただあき)
【二子山部屋】新潟県新津市　本名・坂爪忠明
三一歳　身長一八二㎝　体重一五四kg　右四つ・寄り
初土俵／五〇年三月　新入幕／五五年九月
殊勲賞／一回　敢闘賞／三回
五六八勝五九〇敗　場所数／九六　金星／七

西前頭12

板井

ITAI

板井圭介(いたいけいすけ)
【大鳴戸部屋】大分県臼杵市　本名・板井圭介
三四歳　身長一七六㎝　体重一三九kg　突き・押し
初土俵／五三年九月　新入幕／五五年九月
殊勲賞／一回　技能賞／一回
四七五勝四七三敗　場所数／七五　金星／三

東前頭 13

大若松

OWAKAMATSU

大若松好弘（おおわかまつよしひろ）
【大鵬部屋】埼玉県越谷市　本名・若松好弘
二四歳　身長一八七cm　体重一四六kg　左四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五七年三月　新入幕／二年七月
二四六勝二一四敗　場所数／五四

東前頭 14

多賀竜

TAGARYU

多賀竜昇司（たがりゅうしょうじ）
【鏡山部屋】茨城県日立市　本名・黒谷　昇
三三歳　身長一七六cm　体重一三八kg　右四つ・寄り・投げ
初土俵／四九年三月　新入幕／五七年五月
優勝／一回　敢闘賞／一回　技能賞／一回
五五一勝五九五敗　場所数／一〇二　金星／一

西前頭 13

琴椿

KOTOTSUBAKI

琴椿克之（ことつばきかつゆき）
【佐渡ヶ嶽部屋】沖縄県那覇市　本名・渡嘉敷克之
三〇歳　身長一八八cm　体重一四四kg　右四つ・寄り
初土俵／五一年三月　新入幕／三年一月
三六一勝三〇四敗　場所数／九〇

西前頭 14

北勝鬨

KITAKACHIDOKI

北勝鬨準人（きたかちどきはやと）
【伊勢ノ海部屋】北海道帯広市　本名・久我準人
二五歳　身長一八二cm　体重一三五kg　右四つ・寄り
初土俵／五六年五月　新入幕／平成元年一月
三一八勝二六九敗　場所数／五九

十両
JYURYO

東十両1
琴の若
KOTONOWAKA

【佐渡ヶ嶽部屋】山形県尾花沢市　本名・今野満也
二二歳　身長一九一㎝　体重一四六㎏　突き・押し
初土俵／五九年五月　新十両／二年七月
一七四勝一一〇敗　場所数／四一

西十両1
常の山
TSUNENOYAMA

【出羽海部屋】鹿児島県西之表市　本名・橋本重和
二七歳　身長一八〇㎝　体重一一九㎏　右四つ・上手出投げ
初土俵／五五年七月　新十両／六三年三月
二六五勝二二八敗　場所数／六四

東前頭15
大輝煌
DAIKIKO

大輝煌正人（だいきこうまさと）
【武蔵川部屋】和歌山県御坊市　本名・林正人
二三歳　身長一八四㎝　体重一六〇㎏　右四つ・寄り
初土俵／二年三月　新入幕／三年一月
三五勝八敗　場所数／六

西前頭15
巴富士
TOMOEFUJI

巴富士俊英（ともえふじとしひで）
【九重部屋】秋田県鹿角市　本名・黒澤俊英
一九歳　身長一九一㎝　体重一四五㎏　左四つ・寄り
初土俵／六一年五月　新入幕／三年一月
一二八勝七一敗　場所数／二九

東十両 2

薩洲洋

SASSHUNADA

【井筒部屋】鹿児島県指宿市 本名・吉崎克幸
三二歳 身長一八三㎝ 体重一五一㎏ 突き・押し
初土俵/五一年一月 新十両/五九年七月
四八六勝四五二敗 場所数/九一

東十両 3

栃司

TOCHITSUKASA

【春日野部屋】愛知県名古屋市 本名・後藤哲雄
三二歳 身長一七九㎝ 体重一五二㎏ 突き・押し
初土俵/五六年三月 新十両/五七年一月
敢闘賞/一回 技能賞/一回
四〇四勝三七六敗 場所数/六〇 金星/三

西十両 2

出羽花

OGINOHANA

【出羽海部屋】千葉県市川市 本名・小岩井昭和
二三歳 身長一八八㎝ 体重一三四㎏ 左四つ・寄り
初土俵/五八年七月 新十両/元年七月
二〇八勝一五七敗 場所数/四六

西十両 3

豊海

TOYONOUMI

【藤島部屋】福岡県豊前市 本名・濱田真二
二五歳 身長一八八㎝ 体重一八一㎏ 左四つ・寄り
初土俵/五六年三月 新十両/六二年九月
二九五勝二七一敗 場所数/六〇

東十両 4

玉龍
TAMARYU

【片男波部屋】長崎県長崎市 本名・永田大蔵
二六歳 身長一八九㎝ 体重一二五㎏ 右四つ・吊り
初土俵／四五年一月 新十両／五四年五月
六六〇勝六六四敗 場所数／一二七 金星／一

東十両 5

旭豪山
KYOKUGOZAN

【大島部屋】千葉県市川市 本名・木村泰山
二二歳 身長一八〇㎝ 体重一七二㎏ 突き・押し
初土俵／五九年三月 新十両／六三年一一月
二〇七勝一七七敗 場所数／四二

西十両 4

浪ノ花
NAMINOHANA

【二子山部屋】青森県南津軽郡浪岡町 本名・工藤和博
二二歳 身長一七七・五㎝ 体重一二二・五㎏ 押し
初土俵／五九年五月 新十両／二年一一月
一六四勝一一六敗 場所数／四一

西十両 5

玉海力
TAMAKAIRIKI

【片男波部屋】東京都渋谷区 本名・河辺幸夫
二四歳 身長一八四㎝ 体重一四〇㎏ 右四つ突き
初土俵／五七年三月 新十両／元年九月
二二八勝一九二敗 場所数／五四

佐賀昇

東十両6

SAGANOBORI

【押尾川部屋】佐賀県藤津郡塩田町　本名・林博
二九歳　身長一九二cm　体重一一五kg　左四つ・寄り・投げ
初土俵／五二年三月　新十両／六一年九月
三八三勝三六七敗　場所数／八四

旭里

東十両7

ASAHISATO

【大島部屋】大阪府池田市　本名・増田憲治
二五歳　身長一八六cm　体重一三一kg　右四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五六年三月　新十両／元年一月
二六七勝二三五敗　場所数／六〇

芳昇

西十両6

YOSHINOBORI

【熊ヶ谷部屋】福岡県福岡市　本名・石原義幸
二三歳　身長一七八cm　体重一二七kg　突き・押し
初土俵／五九年三月　新十両／二年七月
一七四勝一二四敗　場所数／四二

剛堅

西十両7

GOKEN

【高砂部屋】兵庫県伊丹市　本名・森田耕平
二六歳　身長一八五cm　体重一六一・五kg　右四つ・寄り
初土俵／五五年九月　新十両／元年十一月
二四二勝一九四敗　場所数／六三

東十両 8

琴白山

KOTOHAKUSAN

【佐渡ヶ嶽部屋】石川県小松市 本名・釜野俊也
二九歳 身長一八三cm 体重一三一kg 右四つ・下手投げ
初土俵／五二年五月 新十両／元年九月
三一八勝二八四敗 場所数／八三

東十両 9

両国

RYOGOKU

【出羽海部屋】長崎県長崎市 本名・小林秀昭
二八歳 身長一八三cm 体重一七三kg 右四つ・寄り
初土俵／六〇年三月 新十両／六一年三月 殊勲賞／一回 敢闘賞／一回
二三三勝二二九敗 場所数／三六 金星／三

西十両 8

龍ヶ浜

RYUGAHAMA

【時津風部屋】静岡県浜松市 本名・柴田広宣
二七歳 身長一八六cm 体重一三九kg 左四つ・寄り
初土俵／五六年一月 新十両／二年九月
二三二勝二〇一敗 場所数／六一

西十両 9

星岩涛

HOSHIIWATO

【陸奥部屋】鹿児島県揖宿郡開聞町 本名・野口祐二
三五歳 身長一八二cm 体重一三九kg 右四つ・上手投げ
初土俵／四五年五月 新十両／五六年一一月
五五〇勝五三六敗 場所数／一二五

立洸

東十両10

TATSUHIKARI

【立浪部屋】北海道斜里郡斜里町 本名・石橋義光
二一歳 身長一九二㎝ 体重一七八kg 左四つ・寄り
初土俵／六〇年三月 新十両／三年一月
一三七勝九四敗 場所数／三六

大善

東十両11

DAIZEN

【二所ノ関部屋】大阪府大阪市 本名・高橋徳夫
二六歳 身長一八九㎝ 体重一三五・五kg 左四つ・寄り
初土俵／五六年三月 新十両／六三年三月
二二一勝一七九敗 場所数／六〇

山錦

西十両10

YAMANISHIKI

【出羽海部屋】静岡県田方郡修善寺町 本名・山崎喜章
二五歳 身長一七四㎝ 体重一三九・五kg 突き・押し
初土俵／五六年三月 新十両／二年一一月
二二七勝一八七敗 場所数／六〇

大岳

西十両11

DAIGAKU

【時津風部屋】滋賀県草津市 本名・横江英樹
二五歳 身長一八五㎝ 体重一四七kg 左四つ・寄り
初土俵／五八年三月 新十両／三年一月
一八三勝一三九敗 場所数／四八

東十両12

熊翁

KUMAO

【高砂部屋】埼玉県熊谷市 本名・佐藤洋之
二四歳 身長一七六cm 体重一一一kg 両差し・寄り
初土俵／五六年三月 新十両／二年三月
二二四勝二〇二敗 場所数／六〇

東十両13

騏乃嵐

KINOARASHI

【押尾川部屋】北海道夕張市 本名・石山和敏
二九歳 身長一八五cm 体重一五八kg 右四つ・寄り
初土俵／五二年三月 新十両／五六年一月
四五九勝三九三敗 場所数／八四 金星／一

西十両12

大翔鳳

DAISHOHO

【立浪部屋】北海道札幌市 本名・村田昌巳
二三歳 身長一八六・五cm 体重一三三kg 突っ張り
初土俵／二年一月 新十両／三年一月
三一勝一一敗 場所数／七

西十両13

栃天晃

TOCHITENKO

【春日野部屋】群馬県高崎市 本名・島方守
二三歳 身長一八一cm 体重一三六・五kg 左四つ・上手出投げ
初土俵／五七年三月 新十両／三年一月
一九七勝一五〇敗 場所数／五四

平成二年のでき事　あれこれ

『初場所』（一月七日初日、両国国技館）

東正横綱は千代の富士。初日から13連勝。14日目に小錦に敗れたが、千秋楽大乃国に勝って14勝1敗。2場所ぶり30回目の優勝を飾った。国民栄誉賞に輝いた千代の富士は初場所初日に二子山理事長（元横綱初代若乃花）から、平山郁夫画伯作の富士山の絵が贈られた。

前年の九州場所に〝涙の初優勝〟をして、連続優勝、一気に横綱昇進を狙った大関小錦は10勝5敗に終ったが、終盤に3横綱に勝って気を吐いた。

協会はなるべく関脇以下に張り出しを作らない方針だが、前場所小結水戸泉が11勝4敗と好成績を挙げ、東西の関脇も勝ち越して、関脇が三人となって、寺尾が東張出関脇となった。張出関脇は昭和60年秋場所の琴風以来26場所ぶりのことだった。

三賞は殊勲賞が東小結の霧島。11勝4敗の成績で北勝海、大乃国の2横綱と小錦、北天佑の2大関を倒した殊勲星が光る。敢闘賞は東前頭4枚目で10勝5敗の栃乃和歌。技能賞は該当者無しだった。

初場所中の一月十日に春日野前理事長（元横綱栃錦）が亡くなられた。国からは相撲界としては過去最高の従四位、勲二等瑞宝章が贈られた。

『春場所』（三月十一日初日、大阪府立体育会館）

13勝2敗が三人。ともえ戦による決定戦の末に勝利を収めたのは横綱北勝海だった。北勝海、小錦、関脇霧島の優勝決定戦は沸きに沸いた。

小錦が北勝海を寄り切り。こんどは霧島が小錦を寄り切り。そして再び登場の北勝海が霧島を押し出し。2連勝しなければ栄冠はつかめない仕組になっているともえ戦。再び北勝海―小錦戦となったが、北勝海が横綱の意地と気迫をみせ、小錦を左下手投げに破り逆転優勝を決めた。幕内の三人による優勝決定戦は25年ぶりのことだった。

春場所をにぎわせた大きな話題に千代の富士の前人未踏の通算1000勝達成があった。七日目、千代の富士は花ノ国を豪快に掬い投げで土俵にたたきつけて、立行司木村庄之助から1000回目の勝ち名のりを受けた。

殊勲賞と技能賞を受賞した霧島が場所後大関に昇進した。霧島は昭和50年春場所が初土俵で91場所を要しての大関昇進は、隆の里（現鳴戸親方）の82場所を大きく破るスロー出世新記録。すでに引退している元大関若島津（現松ヶ根親方）とは初土俵が一緒だ。

『夏場所』（五月十三日初日、両国国技館）

大関旭富士が長いスランプを脱出して14勝1敗で2度目の優勝。

新大関霧島の登場で、土俵がピリッとしまって、六日目まで横綱、大関は全員白星を並べた。（大乃国は休場）。七日目に千代の富士に初黒星がついたが、横綱、大関が初日からの6連勝は史上初の快挙だった。その激戦を見事に勝ち抜いたのが旭富士だった。

天皇、皇后両陛下が、夏場所初日の十三日、お揃いで国技館に足を運ばれ、中入り後の土俵入りから結びの一番までの幕内全取組をご観戦になられた。天皇陛下ご自身の大相撲観戦は18回目だが、天皇になられてからは初めて。天覧相撲としては昭和62年以来3年ぶりのことである。

夏場所は〝若武者〟貴花田が17歳8ヵ月の史上最年少記録を引っ下げての新入幕の場所でもあった。〝怪童〟といわれた北の湖（現北の湖親方）の18歳7ヵ月を大幅に更新してのものだったが、健闘むなしく4勝11敗と負け越してしまった。

夏場所後に大相撲ブラジル公演が行われた。

『名古屋場所』
（七月八日初日、愛知県体育館）

大関旭富士が連続優勝して、場所後に平成初の横綱が誕生。旭富士は三日目に平幕の両国に不覚を取ったが、その後は気力充実した取り口で勝ち進み、千秋楽に星ひとつ差で追いかけていた千代の富士を右からの掬い投げに倒し、14勝1敗で優勝した。千代の富士が名実ともに天下を取ってから久しいが、3場所続けて他人に賜盃を明け渡したのは珍しい。

旭富士は第63代横綱になったが、青森県出身では隆の里に次いで6人目。大島部屋からは初めての横綱誕生で、土俵入りの型は不知火型と決まった。旭富士が横綱になって千代の富士、北勝海、大乃国の四横綱が揃ったことになり、これは昭和62年九州場所以来だ。

十両では若花田が優勝。たびたび旋風を巻き起こした益荒雄（最高位関脇）が引退した。名古屋場所が本場所になったのは昭和33年からだが、初めて15日間満員御礼の垂れ幕が下がった。

『秋場所』
（九月九日初日、両国国技館）

東正横綱千代の富士は夏巡業のけいこ中に左足を痛め、その経過がよくないため休場したが、その穴を北勝海、旭富士の両横綱が埋め、迫熱した十五日間となった。

新横綱旭富士は初日から12連勝と快調に白星街道を突っ走ったが、十三日目に霧島の怪力につかまって初黒星。初日に黒星スタートを切った北勝海が二日目から立ち直って勝ち進み、千秋楽の1敗同士の激突で北勝海が旭富士に勝って、またしても大逆転優勝をした。北勝海にとっては7回目の優勝。

秋場所の土俵に新風を吹き込んだのは新入幕の四力士で、全員が勝ち越して土俵を盛り上げた。その新入幕の中での大暴れＮＯ１は貴闘力で11勝4敗で敢闘賞受賞。若い力士の活躍の影で、引退していく力士も多かった。大器といわれた大関北天佑が七日目に引退を発表した。千秋楽には個性派の大徹（最高位小結）も現役を退いた。

皇太子殿下が八日目をご観戦になられた。また四日目には折りから来日中の国際オリンピック委員会（ＩＯＣ）のサマランチ会長夫妻らが観戦した。

『九州場所』
（十一月十一日初日、福岡国際センター）

平成二年締めくくりの場所を制覇したのは千代の富士。31回目の優勝だった。大乃国は再起を飾る10勝の二けた勝利。四横綱二大関皆勤の場所で幕内力士に休場者はいなかった。

三賞は殊勲賞琴錦、安芸ノ島。敢闘賞曙。技能賞琴錦。新関脇で二けた勝利。琴錦は4場所連続三賞受賞だが、3場所続けての殊勲賞で、一気に大関候補に浮上した。安芸ノ島は旭富士、北勝海の両横綱に勝って通算11個目の金星獲得。史上2位に躍り出た。曙はハワイ出身。幕内2場所目だが、現役最長身の２０４ｾﾝが魅力の力士だ。

貴花田の再入幕で若花田との兄弟同時幕内が実現した。兄弟同時幕内は史上3組目だが、どちらも10代の幕内力士ということでは花田兄弟が初めてだ。

旭富士が70勝20敗で、二度目の年間最多勝に輝いた。九州場所千秋楽、立行司二十七代木村庄之助が65歳の定年で土俵を去った。

土俵の作法

二字口で四股を踏む

力水

礼に始まり礼に終わる、のが相撲道です。控え力士が呼出し、行司に呼び上げられて、二字口で先ず一礼します。

「二字口」とは、土俵上の東西の上がり口のところを言います。徳俵と並行して小さな俵が埋めてありますが、これが〝二〟の字の形になっているところから「二字口」と言います。力士はここに足をかけて土俵に上がります。勝負が終わったあとも相手力士と合わすようにして礼をし、土俵を下ります。

〝相撲の殿様〟として有名だった酒井忠正伯は「相撲随筆」という本の中で次のように書いています。

「相撲は礼に始まり礼に終わる。終戦と同時に礼儀まで追放してしまった世の中でも、此世界には礼がある。礼に終始する相撲を見れば心を打たれるものがある。それを此夏場所眼のあたり見せて呉れたのが玉ノ海だ。十一日目、玉ノ海と大蛇潟の一戦で大蛇潟のするどい寄りで正面土俵につまった玉ノ海が土俵際に堪えて打棄らうとするのを浴せ倒して二人は重なりあって土俵下に落ちた。ゴツンという音がしたが、玉ノ海は起き上れない。昏倒してしまったのだ。水で冷すやら何かと手当をしてやっと気がついた。相手の大蛇潟や弟子達に助けられて立上り、無理に土俵に上って礼をしようとするのを出羽海に止められ、弟子の肩につかまりながら溜を通って花道にかかった。其時行かうとする弟子を止め、土俵下で正面に向き直り、正しく礼をして又

肩につかまって引込んで行った。実に立派な態度だった。支度部屋に戻ると又打ふせになってしまったということだった。

行司の作法、力士の動作、相撲の美しさは外面的にも、内面的にも此礼によって構成されている。

投げられて礼してはいる角力哉　　立　吟

二字口で礼をした力士は、東なら赤房、西なら白房下で四股を踏み、「力水」をつけます。

相撲場における水の使用は、江戸時代からです。東西の花道に面した赤房と白房の土俵下に水桶があり、力士がうがいをしたり身を清めたりするので「力水」とも「化粧水」とも「清めの水」とも称しています。これを勝ち力士か控え力士から柄杓で受け土俵上の出番の力士が口をすすぎます。決して負け力士が水をつけることはありません。結びの力士が二番とも続けて負けた場合は、その力士の付け人がまわし姿になって水をつけることになっています。

塩をまく

「力水」をつけた力士は塩を土俵中央に向けてまいて、それぞれの側の徳俵で「塵浄水（ちりちょうず）」を切ります。

お互いに正々堂々と闘うという意味でこの動作を行います。昔、野外で相撲を取っていたころ、雑草をむしりとって手を清めたのがはじめとされます。蹲踞の姿勢のまま、両の掌（てのひら）でもみあげたあと、かしわ手を打って両手を大きく左右に開きます。そしてはじめ上に向けた掌を下に返します。これは「私はなんの武器も持っていない」ということを示す意味があります。

蹲踞とは基本姿勢の一つで、ツマ先立ちで

塵浄水

深く腰を下ろし、十分に膝を開き、上体を正しくして重心を安定させた姿勢をいいます。このとき大事なのは胸を張り、肩の力を抜くことです。下半身の硬い外人や、新弟子ははじめのうち蹲踞の姿勢がなかなかできません。

手にいっぱい塩をつかんで高々とまく力士もいれば、ちょっぴりとつまんで足もとにさりげなくまく力士と各自各様の塩まきスタイルですが、土俵上に塩がまかれるようになったのは江戸時代からです。土俵を戦場とみなし、神聖視する力士たちは、塩をまくことで土俵の邪気を祓い清めようとします。そんな意味があるところから「清めの塩」といいます。

塩をまくのは土俵を清めるほかに、土俵上でのスリ傷やキリ傷のときなどの化膿止めにもなり、生活の知恵でもあるのです。一日平均40㌔以上が使用され、十五日間の総使用量は600㌔を軽く越します。

力水をつけ、塩をまくのは原則的に十両以上の関取に限られています。

二字口で塵を切り、正々堂々と戦うことを誓った力士は、清めの塩を撒いて土俵中央に進んで、相手力士と合わせて四股を踏みます。

四股は相撲の重要な基本動作です。土俵上での四股踏みは、準備運動として行いますが、腰、膝、足首、ツマ先などを強化するけいこ法です。まず両足を左右に開いて中腰に構えます。足幅は膝の角度が直角になるぐらいです。足を左右、かわるがわりに高く上げます。このとき膝に手を添え、力を入れてツマ先から外の方に砂をはじき飛ばすように地面を踏みます。支える側、すなわち軸足はピンと伸ばし、手のひらで膝をすこし強く押さえます。大事なのはアゴを引くことで、前方を正視する姿勢がよいとされています。四股をきちんと踏むのは見ていても気持ちがいいものです。

仕切りを繰り返していくうちに、力士の肌は紅潮してきます。昔は仕切り時間の制限はありませんでしたが、昭和三年一月のラジオ中継を機会に、初めて仕切り制限時間が制定されました。

四股を踏む

場所	幕内	十両	幕下
昭和三年一月	10分	7分	5分
昭和十七年一月	7分	5分	3分
昭和二十年十一月	5分	4分	3分
昭和二十五年九月	4分	3分	2分

制限時間と同時に仕切り線も制定されました。以前は60ｾﾝ間隔でしたが。現在は70ｾﾝに広げられています。土俵中央に白エナメルで塗られていますが線の長さは90ｾﾝ、幅は6ｾﾝ。場所中は毎日取組が終了したあと、呼出しが塗り替えます。この仕切り線より前に手を出してはいけないことになっていますが、仕切り線ができる以前は、両力士がおでこをつけ合ったり、土俵の徳俵に足をかけて飛び込んだ力士もいました。

「バランスの奇跡」と立ち合いの妙味を鋭く観察したのはフランスの詩人ジャン・コクトーです。

仕切りと塩まきをくり返す

一回ごとに気合が満ち、両力士の力足がじりじりと砂をかむ。行司軍配が返った。立った。両力士、渾身の力をつくしての攻防が観客を魅了する。ハッケヨイ、ノコッタ、ヨーイ、ハッケヨイ…。投げる。こらえる。押す、押し返す。勝負あり！　軍配が東に上がった。

両力士、いさぎよく二字口に分かれて礼をする。勝ち力士は徳俵で蹲踞をして、行司の勝ち名のりを受ける。敗者は静かに土俵を下り、花道で再び一礼して引き上げる。好勝負には必ずといっていいほど懸賞が付く。勝ち名のりを受けた力士は蹲踞のまま待ち、軍配の上に乗った懸賞袋を手刀を切って受け取る。

懸賞袋を受け取る勝ち力士が、右手を、〝チョン、チョン〟とやるのを「手刀を切る」といいます。これは三つの神様に感謝する意味で行われる作法で左・右・中央を切るのが正式といわれています。左が天御中主神（あま

のみなかぬしのかみ）右が高皇産霊神（たかみむすびのかみ）中央が神皇産霊神（かみむすびのかみ）です。

ところで観客の皆様が気になるのは懸賞金の中身でしょう。勝ち力士の手取りは一本二万円です。好取組だと五本、十本とかかるのがざらですから、一瞬のうちに十数万円が入る計算です。スポンサーは実際には相撲協会に一本あたり四万円を支払っています。そのうちの五千円が取組表の印刷代、場内アナウンス代などの手数料となります。残り一万五千円は力士個人の名前で協会が預金しておきます。そして税金支払いなどにあてられます。懸賞の多くかかる力士はそれだけ人気が高いということにもなります。

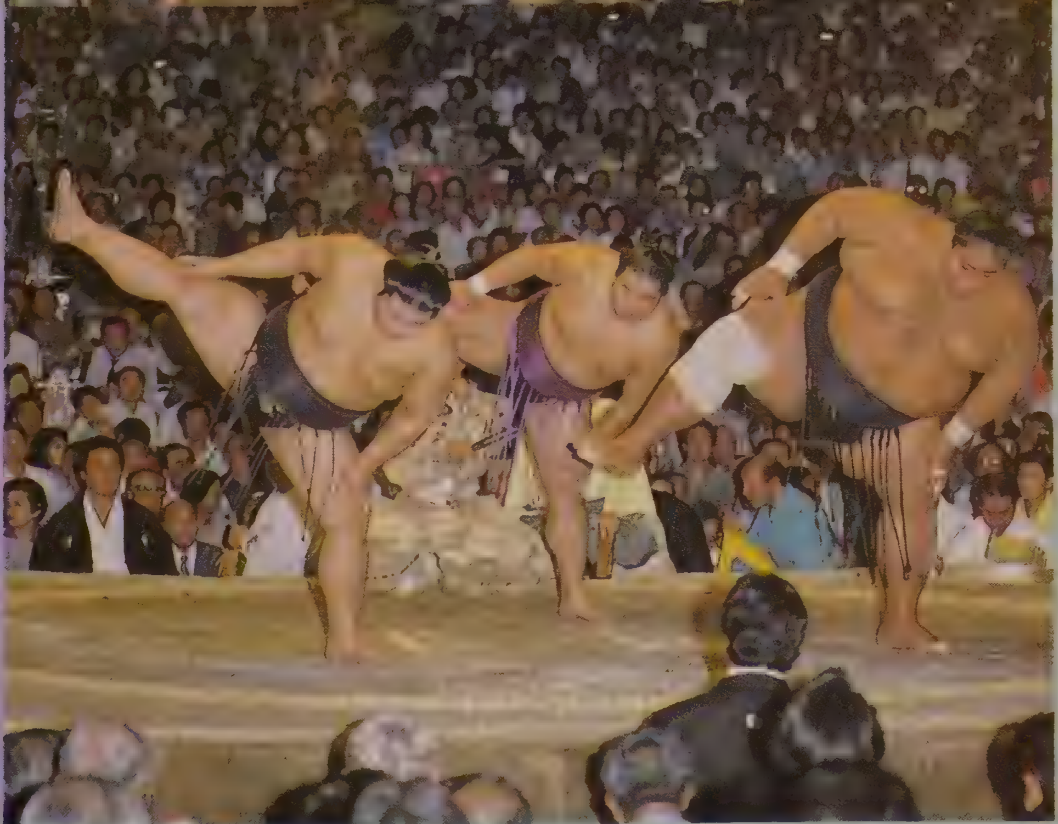
千秋楽の結びの三番だけは懸賞の他に、勝ち力士には弓、矢などが与えられます。大関（結びの一番）にかなう勝ち力士には弓、関脇（結び前の一番）にかなう勝ち力士には弓弦、小結（結び二番前）にかなう勝ち力士には矢が与えられます。千秋楽の結びの三番を「これより三役」といいますが、横綱が大関の中の抜群の力士に授けられる尊称であったころの習慣から大関、関脇、小結をさして「三役」といっています。

勝った力士は、次の力士に「力水」をつけます。前日に勝敗を分けた力士に力水をつけることもあれば、明日対戦が決まった相手に力水をつけることもあります。そして勝ち力士は意気揚揚として、胸を張って花道を引き上げます。さあきょうも勝った。「あすはどの手で投げてやるか」。勝ち力士にとって一番気分のよいときです。

勝ち名のりを受ける

手刀を切る

三役揃い踏み（西方）



三役揃い踏み（東方）

平成２年度記録

平成２年度幕内在位勝星順位表

順位	力士名	1月場所 勝－敗	3月場所 勝－敗	5月場所 勝－敗	7月場所 勝－敗	9月場所 勝－敗	11月場所 勝－敗	合計 勝－敗	備考
1	旭富士	9-6	8-7	優勝 14-1	優勝 14-1	13-2	12-3	70-20	優勝2回
2	北勝海	11-4	優勝 13-2	10-5	10-5	優勝 14-1	9-6	67-23	優勝2回
3	小錦	10-5	13-2	12-3	10-5	9-6	10-5	64-26	
4	千代の富士	優勝 14-1	10-5	13-2	12-3	全休	優勝 13-2	休 62-13-15	優勝2回
〃	霧島	殊勲賞 11-4	殊勲賞 技能賞 13-2	9-6	休 6-2-7	13-2	10-5	休 62-21-7	殊勲賞2回 技能賞1回
6	安芸ノ島	8-7	殊勲賞 8-7	殊勲賞 技能賞 10-5	敢闘賞 9-6	6-9	殊勲賞 10-5	51-39	殊勲賞3回 敢闘賞1回 技能賞1回
7	琴錦	8-7	4-11	敢闘賞 9-6	殊勲賞 9-6	殊勲賞 9-6	殊勲賞 技能賞 10-5	49-41	殊勲賞3回 敢闘賞1回 技能賞1回
8	栃乃和歌	敢闘賞 10-5	8-7	4-11	8-7	9-6	8-7	47-43	敢闘賞1回
9	隆三杉	9-6	6-9	8-7	8-7	6-9	9-6	46-44	
〃	起利錦	9-6	6-9	9-6	7-8	6-9	9-6	46-44	
11	三杉里	8-7	6-9	8-7	9-6	4-11	10-5	45-45	
12	寺尾	7-8	8-7	7-8	8-7	9-6	5-10	44-46	
〃	琴富士	8-7	9-6	8-7	4-11	7-8	8-7	44-46	
14	若瀬川	5-10	9-6	5-10	9-6	6-9	8-7	42-48	
〃	旭道山	8-7	6-9	5-10	9-6	6-9	8-7	42-48	
16	琴ヶ梅	8-7	7-8	6-9	8-7	4-11	7-8	41-49	
〃	陣岳	9-6	4-11	8-7	8-7	3-12	9-6	41-49	
18	花ノ国	8-7	5-10	8-7	4-11	10-5	5-10	40-50	
〃	太寿山	8-7	4-11	9-6	5-10	8-7	6-9	40-50	
〃	春日富士	3-12	9-6	4-11	敢闘賞 10-5	6-9	8-7	40-50	敢闘賞1回
〃	豊ノ海	7-8	7-8	8-7	9-6	3-12	6-9	40-50	

平成２年度優勝力士

	幕内	十両	幕下	三段目	序二段	序ノ口
1月場所	東横綱 千代の富士 （九重） 14勝１敗 30回目	西 7 益荒雄 （押尾川） 12勝３敗 ４回目	東 24 山崎 （立浪） ７戦全勝	西 16 大石田 （大鵬） ７戦全勝	東 96 大空 （東関） ７戦全勝	東 31 源勇山 （二子山） ７戦全勝
3月場所	西横綱 北勝海 （九重） 13勝２敗 ６回目	東 2 益荒雄 （押尾川） 10勝５敗 ５回目	東 4 山崎 （立浪） ７戦全勝 ２回目	西 65 天城洲 （出羽海） ７戦全勝	西 78 秀ノ花 （放駒） ７戦全勝	西 16 鳳龍 （放駒） ７戦全勝
5月場所	西張出大関 旭富士 （大島） 14勝１敗 ２回目	西 11 大翔山 （立浪） 12勝３敗	西 37 林 （武蔵川） ６勝１敗	東 40 武蔵丸 （武蔵川） ７戦全勝	東 16 佐々木 （時津風） ７戦全勝	西 15 太田 （若松） ７戦全勝
7月場所	東大関 旭富士 （大島） 14勝１敗 ３回目	東 2 若花田 （藤島） 12勝３敗	西 15 時津洋 （時津風） ７戦全勝	西 23 古賀 （友綱） ７戦全勝	東 82 須川 （出羽海） ７戦全勝	西 40 南山 （大鳴戸） ６勝１敗
9月場所	東張出横綱 北勝海 （九重） 14勝１敗 ７回目	西 2 小城ノ花 （出羽海） 11勝４敗 ２回目	西 4 林 （武蔵川） ７戦全勝 ２回目	西 48 紫尾山 （井筒） ７戦全勝	東 19 将風 （尾車） ７戦全勝	西 41 神生岩 （東関） ７戦全勝
11月場所	東張出横綱 千代の富士 （九重） 13勝２敗 31回目	西 9 大輝煌 （武蔵川） 11勝４敗	東 4 立洸 （立浪） ７戦全勝	西 45 名城國 （友綱） ７戦全勝	西 90 琴別府 （佐渡ヶ嶽） ７戦全勝	東 34 中谷 （北の湖） ７戦全勝

平成２年度三賞受賞力士

	殊勲賞	敢闘賞	技能賞
1月場所	小結 霧島	前4 栃乃和歌	該当者なし
3月場所	関脇 霧島 前2 安芸ノ島	前6 両国 前14 久島海	関脇 霧島
5月場所	前1 安芸ノ島	前6 琴錦 前9 孝乃富士	前1 安芸ノ島
7月場所	前1 琴錦	関脇 安芸ノ島 前12 春日富士	該当者なし
9月場所	小結 琴錦	前13 貴闘力	該当者なし
11月場所	関脇 琴錦 前1 安芸ノ島	前7 曙	関脇 琴錦

通算出場記録

順位	力士名	回数
1	大潮	1891
2	高見山	1654
3	青葉城	1630
4	富士櫻	1613
5	麒麟児	1562
6	蔵間	1552
7	魁輝	1532
8	大錦	1490
9	千代の富士	1468(現役)
10	巨砲	1426(現役)

不戦敗は休みとする

通算勝星数記録

順位	力士名	勝利数
1	千代の富士	1042(現役)
2	大潮	964
3	北の湖	951
4	大鵬	872
5	高見山	812
6	青葉城	789
7	富士櫻	788
8	北の富士	786
9	麒麟児	773
10	蔵間	765

幕内在位場所数記録

順位	力士名	場所数
1	高見山	97
2	麒麟児	84
3	北の湖	78
	千代の富士	78(現役)
5	出羽錦	77
	鶴ヶ嶺	77
7	富士櫻	73
8	黒姫山	72
9	巨砲	71(現役)
10	貴ノ花	70

通算連続出場記録

順位	力士名	回数	備考
1	青葉城	1630	39/5より61/7 11日目
2	富士櫻	1543	38/5より59/1 3日目
3	高見山	1425	39/5より56/9初日
4	大竜川	1367	36/3より54/5 4日目
5	飛騨乃花	1297	44/5より平成元/1千秋楽
6	蜂矢	1263	43/11より62/7千秋楽
7	白田山	1202	34/9より52/5千秋楽
8	大徹	1199	46/9より平成2/9千秋楽
9	大旺	1156	40/3より56/9千秋楽
10	青ノ里	1146	28/3より44/3 4日目

初土俵以来無休

幕内勝星数記録

順位	力士名	勝利数
1	北の湖	804
	千代の富士	804(現役)
3	大鵬	746
4	高見山	683
5	輪島	620
6	柏戸	599
7	北の富士	592
8	麒麟児	580
9	貴ノ花	578
10	琴櫻	553

幕内出場回数記録

順位	力士名	回数
1	高見山	1430
2	麒麟児	1221
3	鶴ヶ嶺	1128
4	出羽錦	1094
5	富士櫻	1083
6	黒姫山	1080
7	巨砲	1065(現役)
8	千代の富士	1047(現役)
9	北の湖	1043
10	長谷川	1024

不戦敗は休みとする

幕内連続出場記録

順位	力士名	回数	備考
1	高見山	1231	43/1より56/9初日
2	黒姫山	1065	44/11より56/7千秋楽
	巨砲	1065(現役)	54/3より
4	長谷川	1024	40/1より51/5 4日目
5	大晃	945	25/9より38/9千秋楽
6	青ノ里	885	34/1より43/9千秋楽
	金城	885	49/9より59/5千秋楽
8	北の湖	863	47/5より56/11 8日目
9	清国	831	38/11より48/1 6日目
10	麒麟児	781	55/1より63/9初日

三賞受賞回数記録

順位	力士名	回数	殊勲	敢闘	技能
1	鶴ヶ嶺	14	2	2	10
	朝潮	14	10	3	1
3	大受	11	4	1	6
	高見山	11	6	5	
	麒麟児	11	4	4	3
	北勝海	11(現役)	3	3	5
7	栃錦	10	1		9
	北の洋	10	4	1	5
	栃東	10	4		6
	魁傑	10	2	7	1
	出羽の花	10	1	5	4
	小錦	10(現役)	4	5	1

金星獲得回数記録

順位	力士名	個数
1	高見山	12
2	安芸ノ島	11(現役)
3	北の洋	10
	安念山	10
	鶴ヶ嶺	10
	出羽錦	10
	巨砲	10(現役)
8	三根山	9
	玉乃海	9
	長谷川	9
	富士櫻	9

（平成2年11月場所終了現在）

相撲案内所

館　内

	通路	
11号案内所		10号案内所
12号案内所		9号案内所
13号案内所		8号案内所
14号案内所		7号案内所
15号案内所		6号案内所
16号案内所		5号案内所
17号案内所		4号案内所
18号案内所		3号案内所
19号案内所		2号案内所
20号案内所		1号案内所

平成3年度本場所日程

本場所	開催地	番附発表	初日	千秋楽
1月場所	東京	12月28日	1月13日	1月27日
3月場所	大阪	2月25日	3月10日	3月24日
5月場所	東京	4月30日	5月12日	5月26日
7月場所	名古屋	6月24日	7月7日	7月21日
9月場所	東京	8月26日	9月8日	9月22日
11月場所	福岡	10月28日	11月10日	11月24日

当日御入場の際、御席での料理、飲食、みやげ物については各案内所で承っておりますので申しつけ下さい。なお、御招待等の場合は、電話での御予約も致しますので、御予算の範囲内で、御接待申し上げます。

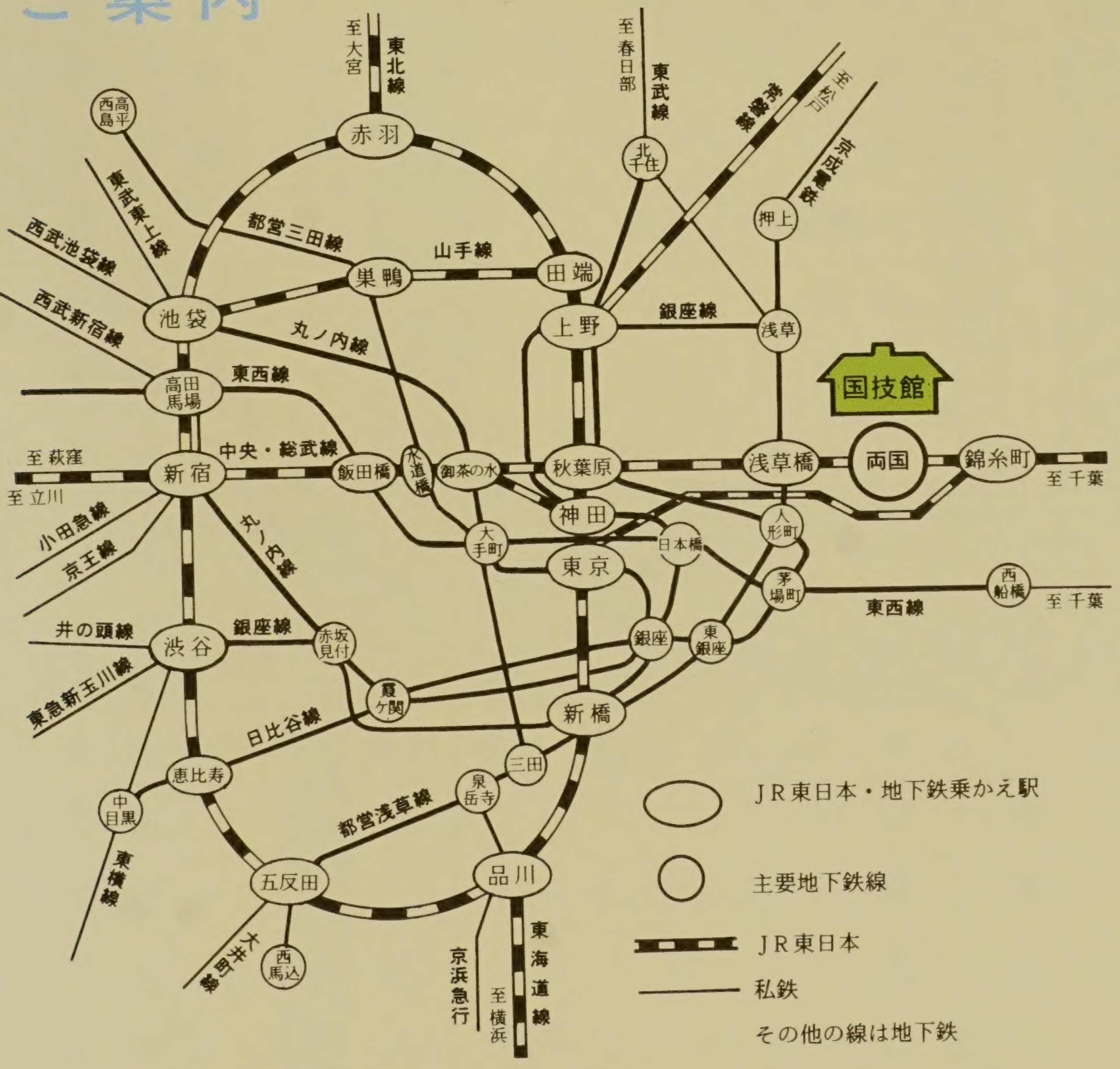
※また、館内には、食堂、売店もございますので御利用下さい。

※お忘れ物、遺失物がありましたら、お席番号を確かめて相撲協会事務所または各案内所へお申し出下さい。

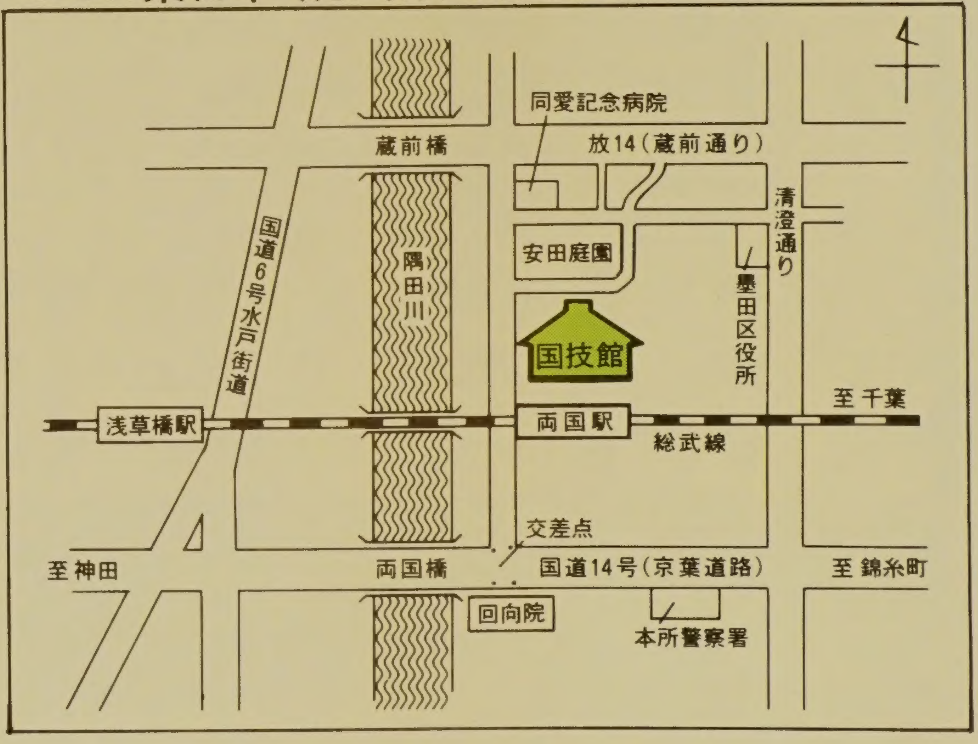
相撲ご観覧についてお気づきの点がございましたら　国技館サービス(株)まで御申し出願います。

電話 03 (3625) 2111

交通ご案内



● JR東日本（総武線）両国駅下車徒歩…1分



発　行　平成3年1月13日
発行所　東京都墨田区横網1丁目3番28号
発行者　日本相撲協会
監　修　時津風勝男
印刷所　精工印刷株式会社

＊本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。

定　価　400円

大相撲
栃若物語

小よく大を制す！あの土俵の熱狂を色鮮やかに再現!!

栃若の名勝負2番と横綱土俵入りを、日本で初めてカラー化に成功。徐々に紅潮する肌の色合が、両雄の対戦の激しさをそのまま再現。全30番収録。

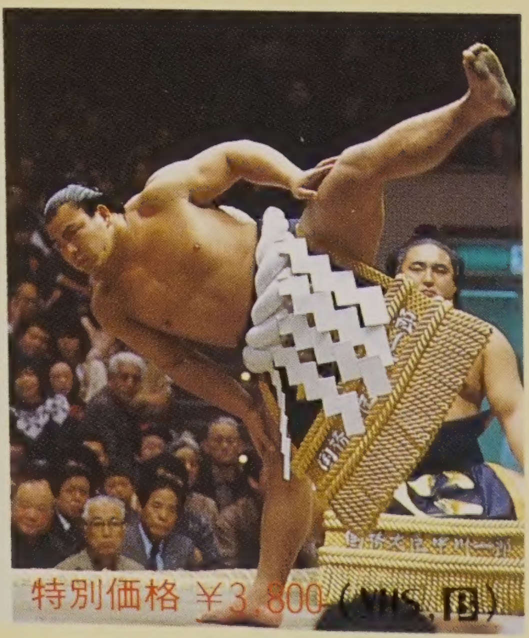
大相撲ビデオシリーズ第一弾

お申込み問合せ　大相撲ビデオ事務局
03-5884-0993
制作著作／財団法人日本相撲協会

華麗なる土俵の狩人
ウルフ千代の富士

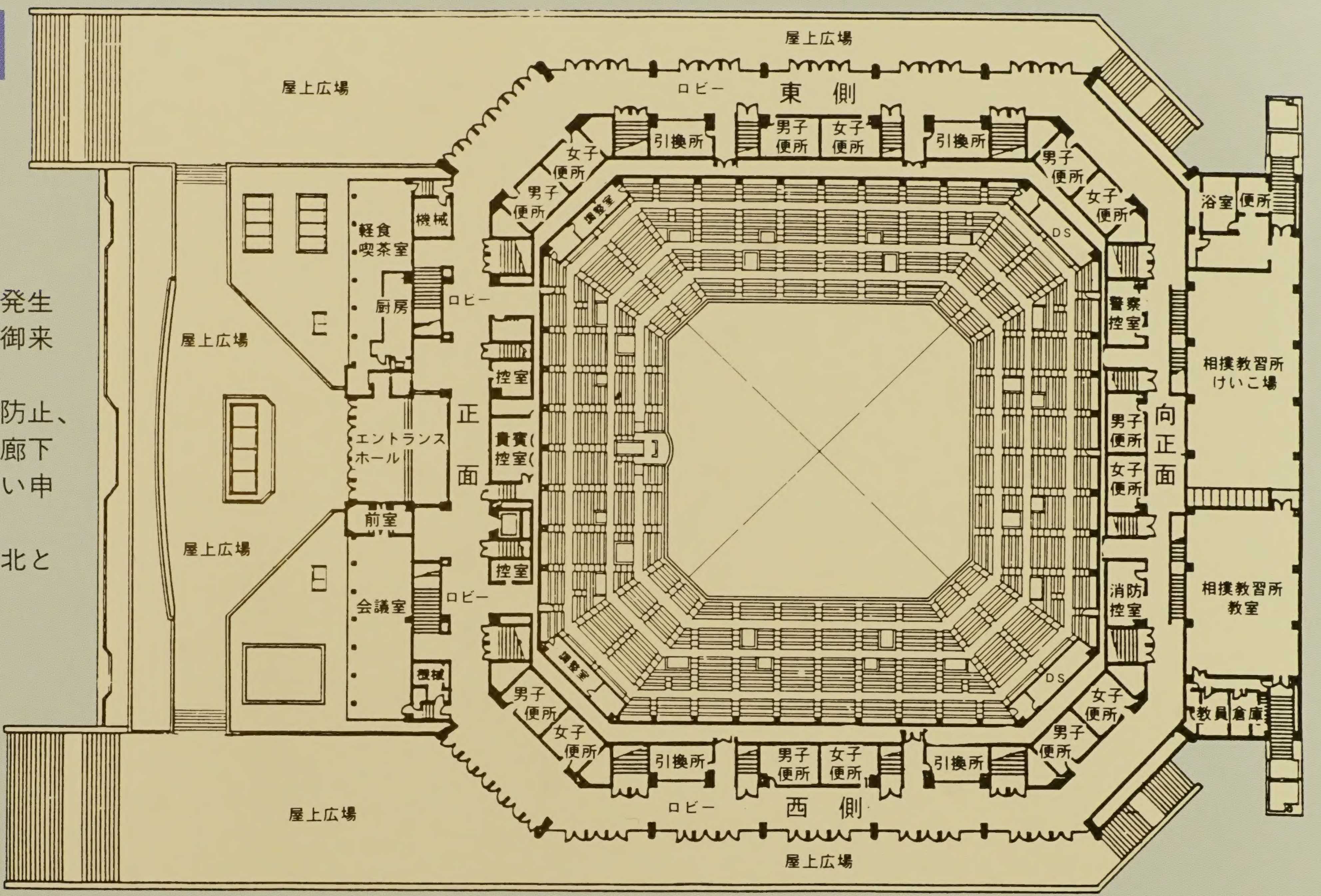
小さな大横綱千代の富士の全ぼうを初公開！

未だ公開されていない幼年期から、幾度もの故障を克服し大横綱として君臨する千代の富士の相撲人生を初めて描いた貴重な記録。全35番収録。



館内案内図

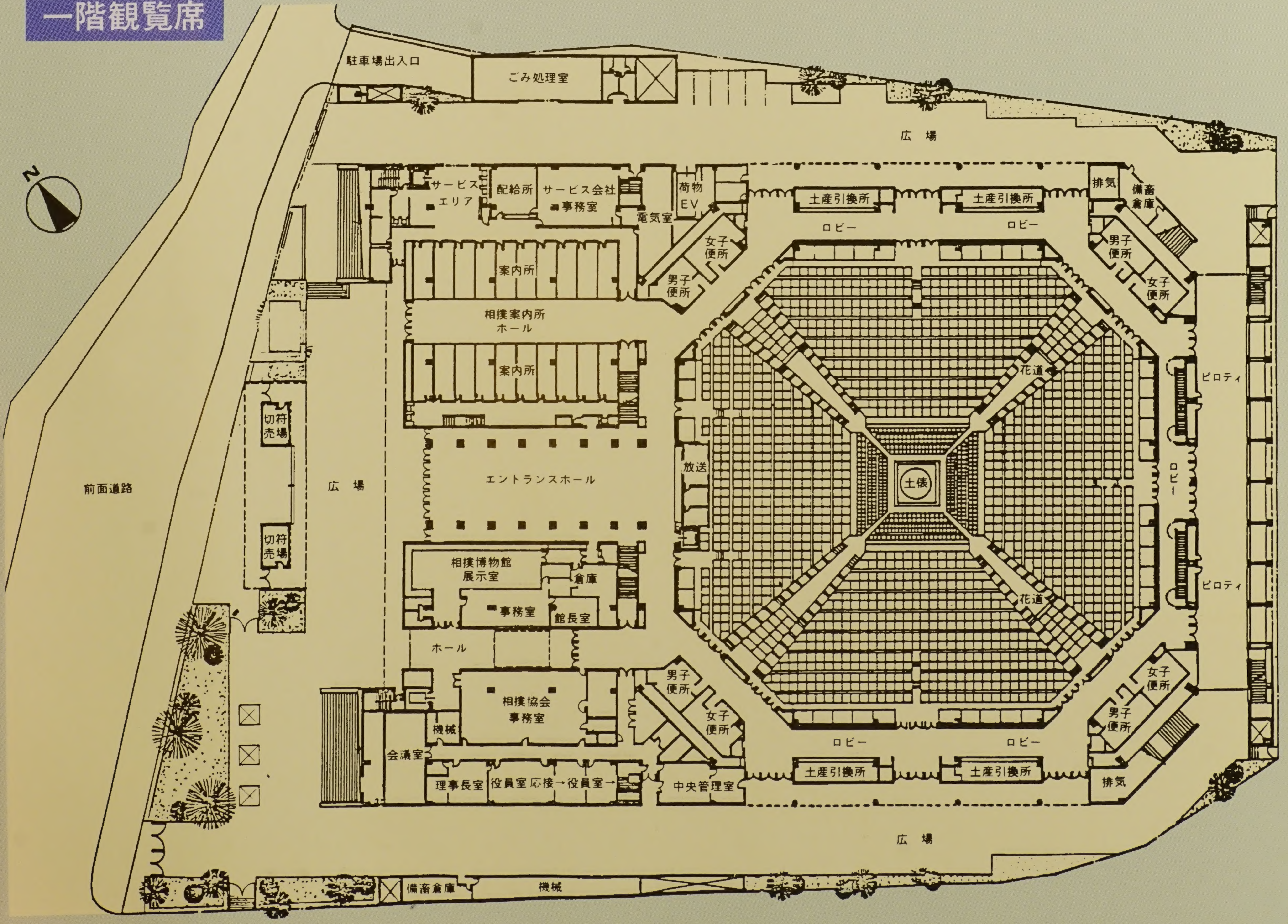
二階・三階観覧席



おねがい

⦿交通混雑と自動車による公害の発生を抑制するため、マイカーでの御来場はご遠慮下さい。
⦿おたばこは火災予防その他危険防止、公衆衛生のため必ず喫煙所又は廊下の灰皿をご利用下さるようお願い申し上げます。
⦿殿方・ご婦人用お手洗は東西南北と二階四隅にございます。
⦿非常口は両側にございます。

一階観覧席



初代式守伊之助義則使用の軍配

明和４年（1767）より寛政５年（1793）まで
26年間土俵をつとめたとき使用した軍配。

1991.1.

財団法人　日本相撲協会